令和7年度　森林環境譲与税の使途について

四万十町　農林水産課　林業振興室

(1) 歳入　　単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	188,136
前年度繰越（基金積立額）	149,991
積立利子	176
歳入合計	338,303

(2)歳出（使途内訳）　　単位：千円

事業名	事業費			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		森林環境譲与税	その他		
森林経営管理事業 ・会計年度任用職員報酬・手当等（意向調査業務） ・森林情報システム保守委託料	6,337	6,300	37	○譲与税を活用した未整備森林の解消に取り組む。令和7年度は旧十和村の3地区（大井川、野々川、津賀）に対して意向調査及び現地調査を実施。また、令和6年度に意向調査を行った河内、昭和、井崎地区の現地確認を行い、次年度に行う管理施業地の選定を行った。 ○会計年度任用職員を雇用し、実施体制を強化。 ○令和元年度に導入した森林情報システムについての保守委託。	[意向調査] 対象地域:大井川、野々川、津賀 意向調査人数:131人 意向調査面積:179.59ha 意向調査回収率:79人、60% [集積計画に基づく森林整備] ・大道地区保育間伐　1.40ha 267千円 ・森林経営管理制度において、システムを利用し地形解析及び森林資源解析を実施。
四万十川流域森林環境整備事業	66,093	63,500	2,593	間伐・作業道開設における町単補助、国造林事業等及び県緊急間伐事業への上乗せ。 ○間伐支援事業 ・搬出間伐　260,000円以内/ha　・保育間伐　85,000円以内/ha ○作業道整備支援事業 ・作業道開設　1,400円以内/m ○森林整備推進支援事業 ・切捨間伐　134,000円/haから県補助金を差引いた額以内 ○緊急間伐総合支援事業 ・作業道開設　2,000円以内/m　・搬出間伐　263,000円以内/ha、 ・路面整備　200円以内/m　・洗い越し工　6,000円/箇所	【実績及び補助額】 ・作業道開設　27件　45.549m　町　30,927,823円 ・切捨間伐　1件　0.85ha　町　19,000円 ・搬出間伐　18件　210.85ha　町　32,784,886円 ・除伐、保育　3件　46.85ha　町　1,390,620円 ・再造林　1件　1.88ha　町　969,874円
自伐林家等支援事業	12,211	12,000	211	自伐林業者及び小規模事業体を育成し、林業従事者（担い手）の確保及び技術・生産性の向上を図る。 ○各種技能講習、救命講習等の自伐林業者等育成研修の実施 ○林業機械（バックホウ、林内作業車、トラック等）のレンタル費用への支援 ○林業機械の購入に対する支援（補助率1/2以内）	○四万十町森林組合に業務委託を行い、刈払機やﾁｪﾝｿｰ、小型車両運転技術講習や伐採等現地指導を年間10回に分けて実施し技能・知識の向上を図った。 R7参加者58名　研修委託料1,620千円 ○林業機械ﾚﾝﾀﾙ(ﾊﾞｯｸﾎｳ・ｳｲﾝﾁ等11件2,743千円） ○林業機械購入(林内作業車等11件7,848千円）
林業・木材産業担い手育成支援事業	15,657	15,600	57	林業の持続的な発展を図るため、森林組合その他林業事業体及び製材事業者が行う新規就業者を育成する取り組みに要する経費に対し支援を行う。 ○人件費に対する補助：月額6万円（林業事業体：最大5年間　製材事業：最大3年）	町内7事業体が雇用した新規就業者（採用5年目まで）27名について支援を行い、林業担い手の育成に寄与。
木材流通販促事業	1,955	1,900	55	町内の森林組合、林業事業体、製材組合等が実施する木材の普及啓発活動、木材流通販路拡大及び経営基盤強化等による四万十町ヒノキの販売・利用促進に繋がる活動を支援。（補助率1/2以内）	○木材普及啓発活動 ・県外営業活動旅費、四万十ヒノキPR用品作成 ○木材流通販路拡大 ・四万十ヒノキ商品の開発企画、販促活動、販路開拓事業 ○経営強化基盤支援 ・経営基盤強化を図るために必要な分析費用
町産材利用促進事業	6,451	4,900	1,551	町産材を使用し町内の工務店等が施工することを条件に、使用材積1立方メートル当たり7万円、かつ1戸当たり150万円を上限に助成。 ①住宅（0.5立方メートル/坪以上　面積40平方メートル以上） ②非住宅（面積20平方メートル以上）	○補助対象住宅建築棟数　5棟
四万十の木ふれあい木育推進事業	1,461	1,400	61	町産材を使用し製作された乳幼児用玩具等（玩具、イス、テーブル等）を贈呈品とし、1品贈呈する。 【対象者】四万十町出産祝金対象者　※令和5年4月1日以降出生者	○贈呈者数　42名
町産材普及促進事業	262	200	62	民間企業、地元高校生及び関係機関等が連携し、町産材を活用した木製品の製作、ワークショップの開催、木材イベントへの出展等により、町産材の普及啓発及び林業・木材産業の発展に図る。	大阪・関西万博会場に町産材を使用し製作したイス3脚設置。万博終了に伴い町内各所に移設する経費。
小中学校学習机等整備事業	3,605	3,500	105	町産材を使用し小中学校の学習環境（机、いす等）を整え、町産材の利用促進及び普及啓発に繋げる。	14校(小11,中3) ○木製机天板交換　185枚(小80,中105)
興津小室の浜松林再生事業委託料	566	500	66	興津小室の浜（保安林：防風林）の松林再生を図る為、松の植樹を実施	○松（クロマツ）植樹　：250本
危険木伐採業務委託料	2,706	2,700	6	生活道、公共施設の使用に支障がある危険木を伐採し、生活環境の改善を図る。	支障木の伐採・撤去
保育所靴棚設置事業	271	200	71	町産材を使用し、町内保育所の木製設備（靴棚等）の整備を行い啓発及び利用促進に繋げる。	実施保育所数：1
森林環境整備基金積立金	225,603	225,603		次年度以降の森林整備促進、未整備森林の解消に繋がる取組み等に必要な財源として基金への積み立て。	
歳出合計	343,178	338,303	4,875		